

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立岐阜聾学校		
実 施 期 間	平成25年11月23日(土)～11月24日(日)		
実 施 概 要	<p>岐聾祭(文化祭)の公開</p> <p>①ステージ発表 ②企画 ③作品展示 ④PTAによる食品・物品バザー ⑤きこえとことばのサークル</p>		
実 施 内 容	<p>学習・取組の分野</p> <p><input type="checkbox"/>自然 <input type="checkbox"/>歴史 <input checked="" type="checkbox"/>文化 <input type="checkbox"/>産業 <input type="checkbox"/>その他</p>		
	<p>公開の方法</p> <p><input type="checkbox"/>授業公開 <input checked="" type="checkbox"/>成果発表 <input checked="" type="checkbox"/>交流活動 <input type="checkbox"/>講演会等</p> <p><input type="checkbox"/>地域行事等参加 <input type="checkbox"/>その他</p>		
来 校 者 数	保 護 者	232人	計 510人
	地 域 関 係 者	278人	
実 施 状 況	<p>「五つの柱 ～仲間、創造、飛翔、達成、笑顔～」をテーマに掲げ、全学部の子どもたちがこれまでの取組の成果を発表した。</p> <p>①ステージ発表 中学部・高等部の生徒会執行委員や文化・報道委員が中心となり、オープニングやエンディングセレモニーを行った。また、太鼓部による開演太鼓、幼稚部・小学部・中学部・高等部による劇、高等部によるダンス、芸術部の音楽発表等を行った。</p> <p>②企画 中学部によるびっくりハウスやカフェ、中学部重複障がい学級によるクッキー販売、高等部による「聾学校の歴史から学ぶ」や木工教室、名刺作りやアームマッサージコーナー、高等部の作業学習で制作した陶器の販売等を行った。</p> <p>③作品展示 幼稚部・小学部・中学部・高等部の幼児児童生徒が、授業で作成した作品や学習の様子を伝える写真等を展示した。</p> <p>④PTAによる食品・物品バザー PTAの方々による食品や物品バザーを行った。食品バザーは昼食と兼ねて実施し、来場者にも販売を行った。</p> <p>⑤きこえとことばのサークル 県内の聴覚障がいのある児童生徒を対象に案内を配付し、岐聾祭に参加していただき、岐阜聾学校の取組を知っていただくとともに、同年代の仲間との交流が深まるような場とした。</p>		

<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる広報に加えて、県内の小・中学校・特別支援学校や地域広報誌、聴覚障害者協会の機関誌等への案内掲載、近隣校や施設でのポスター掲示を行った。その結果、本校の保護者や家族だけではなく、地域の方々、卒業生、県内の聴覚障がい児・者、交流校・関係機関等から多くの方々に来校していただくことができた。 ・来校者のアンケートから、「毎年来ているが、毎回、一人一人の頑張っている姿に感動している。」「いろいろな作品が展示してあり、学習の様子がよくわかった。」「ステージ発表で、生き生きした表情が印象的だった。」等の感想をいただいた。保護者から、「普段は見ることができない他学部の様子に触れることができた。」「活動を通して、子どもだけでなく保護者も関わりを深めることができた。」等の感想が聞かれた。 ・高等部が交流している老人ホームの方々にも、岐躰祭を楽しんでいただいた。各部の作品展示を見て「力強さやアイデアの豊かさに驚いた。」「ホームでも作ってみたい作品があった。」、ステージ発表を見て「子どもたちからエネルギーをもらった。」等の感想をいただいた。 ・きこえとことばのサークルに参加した児童生徒とその家族の方々は、ステージ発表や企画、展示等を通して、本校の教育活動を理解していただくだけではなく、本校の幼児児童生徒や他校に在籍している仲間と交流を深める良い機会となった。 ・毎年多くの来校者があり、本校の幼児児童生徒にとって学習の成果を見ていただく良い機会となっている。特に企画等では、来校者とコミュニケーションを図る場ともなっており、関わりを通して、言語力や表現力等の向上や接客マナー等の育成にも役立っている。 ・今後は、今年度の反省を生かし、更に来校者が増えるよう広報の工夫や内容の充実を図りたい。
---------------	---